

平成 26 年 7 月 24 日

「第 91 回九州の経営動向調査」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、四半期毎に当行のお取引先様のご協力を得て、経営動向調査を実施しております。このたび、第 91 回の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1. 調査対象企業

- ・ 当行の主要取引先 756 社（回答企業数 337 社、回答率 44.6%）
- ・ 回答企業：福岡県内企業 82.2%、中小企業 78.3%

2. 景況感の概要

- ・ 景況感は、全産業は 5 期ぶりに悪化となった。製造業は 2 期連続の悪化、非製造業は 5 期ぶりに悪化となった。
- ・ 足元の景況感は、全産業で 33.7 ポイントの悪化、製造業で 16.7 ポイントの悪化、非製造業で 39.7 ポイントの悪化となっている。
- ・ 3 カ月後は、全産業・製造業・非製造業において改善の見通しとなっている。

※景況感BSI

	25年4月 ～6月期	25年7月 ～9月期	25年10月 ～12月期	26年1月 ～3月期	26年4月 ～6月期	26年7月 ～9月期 (見通し)
製造業 (改善ポイント)	▲ 3.6 (▲ 4.8)	11.7 (+15.3)	24.7 (+13.0)	19.1 (▲ 5.6)	2.4 (▲ 16.7)	9.5 (+7.1)
非製造業 (改善ポイント)	8.4 (+4.8)	13.5 (+5.1)	22.1 (+8.6)	28.0 (+5.9)	▲ 11.7 (▲ 39.7)	9.2 (+20.9)
全産業 (改善ポイント)	5.4 (+2.4)	13.1 (+7.7)	22.7 (+9.6)	25.6 (+2.9)	▲ 8.1 (▲ 33.7)	9.3 (+17.4)

3. 個人消費動向

『現在の個人消費』について、今回調査では、全産業で「良い」と回答した企業が 28%であるのに対し、「悪い」と回答した企業は 25%となっている。これを前回調査との比較でみると、「良い」が 45%から 17 ポイント減少し、「悪い」が 12%から 13 ポイント増加しており、『現在の個人消費』は前回調査時点より悪化している。

『先行き 3 か月後の個人消費』について、今回調査では、全産業で「好転」と回答した企業が 42%であるのに対し、「悪化」と回答した企業は 14%となっている。これを前回調査との比較でみると、「好転」するが 18%から 24 ポイント増加し、「悪化」するが 54%から 40 ポイント減少しており、『先行き 3 か月後の個人消費』は前回調査時点より改善している。

4. 設備投資動向

平成 26 年度の設備投資見通しは、全産業で前年度比 31.6%の増加となっている。

5. 雇用動向(採用状況)

平成 26 年度の採用実績は、全産業で前年度比 7.3%の減少となっている。

以上

詳しくはこちらでご覧いただけます。→ [第 91 回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問い合わせ先
融資統括部 立石 (TEL 092-476-2781)

※ 当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。